



2022 年 5 月 16 日

各 位

会社名 株式会社コマース One ホールディングス
(コード 4496:グロース)
東京都千代田区四番町 6 番地 東急番町ビル
代表取締役 岡本 高彰
問合せ先 取締役兼管理本部長 田中 耕一
(TEL. 03-5745-3888)

(訂正)「2022 年 3 月期 決算説明資料」の一部訂正について

2022 年 5 月 13 日に公表いたしました「2022 年 3 月期 決算説明資料」につきまして、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおりお知らせします。

記

訂正箇所・内容

「2022 年 3 月期 決算説明資料」の以下ページ内のグラフ軸名および凡例

- P.31 ストック売上※1 - フューチャーショップ
- P.43 ソフトルの実績 (顧客受注総額)
- P.44 開発売上総額※1・1社あたり開発売上高※2
- P.45 ストック売上※1 - ソフトル
- P.46 2022 年 3 月期 案件受注状況
- P.61 2023 年 3 月期予算計画・成長方針 - 売上高
- P.62 2023 年 3 月期予算計画・成長方針 - 営業利益

なお、詳細につきましては、次ページ以降の赤枠部分をご参照ください。

訂正版の決算説明資料については、弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.cm-one.jp/ir/library/#section-02>

● P.31 ストック売上※1 - フューチャーショップ
(訂正前)

ストック売上※1 - フューチャーショップ

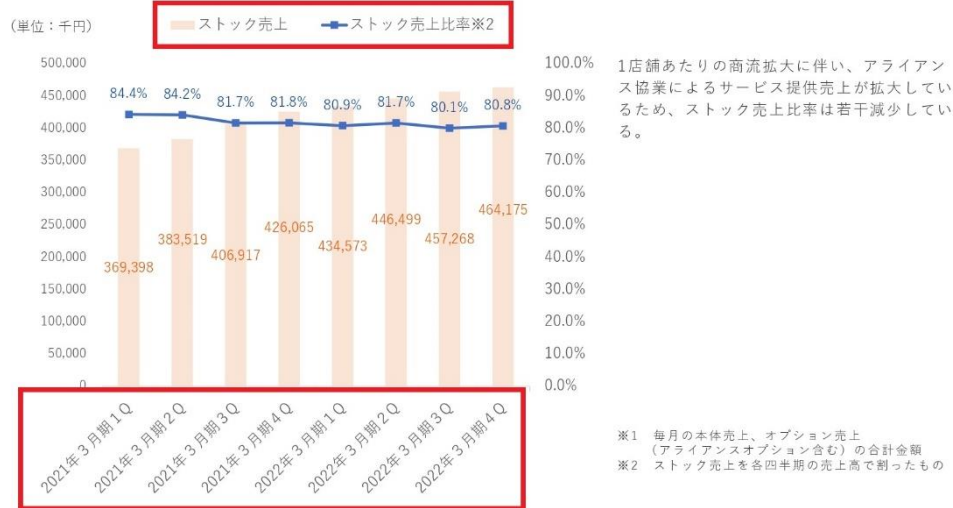
新型コロナウイルス感染症拡大の中での巣ごもり消費の活発化によるEC利用率の上昇に伴い、契約件数・ARPUが継続成長している結果、ストック売上は順調に増加。



(訂正後)

ストック売上※1 - フューチャーショップ

新型コロナウイルス感染症拡大の中での巣ごもり消費の活発化によるEC利用率の上昇に伴い、契約件数・ARPUが継続成長している結果、ストック売上は順調に増加。



● P.43 ソフトルの実績（顧客受注総額）
（訂正前）

ソフトルの実績（顧客受注総額）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績好調であった顧客は引き続き好調を維持。さらにホームセンター商材（DIYニーズ）や、バイク用品（公共交通機関を避ける通勤手段、3密を避けるレジャー手段としてのニーズ）を扱う顧客が業績を伸ばす。販売環境強化のための追加カスタマイズ需要が更に高まった。

2020年1月以降でカスタマイズの発注が100万円以上ある顧客受注総額推移



（訂正後）

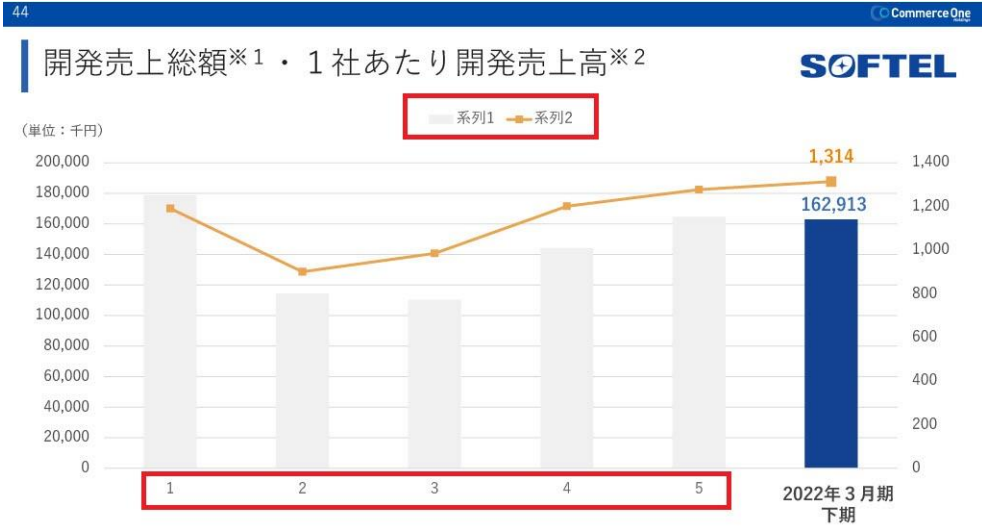
ソフトルの実績（顧客受注総額）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績好調であった顧客は引き続き好調を維持。さらにホームセンター商材（DIYニーズ）や、バイク用品（公共交通機関を避ける通勤手段、3密を避けるレジャー手段としてのニーズ）を扱う顧客が業績を伸ばす。販売環境強化のための追加カスタマイズ需要が更に高まった。

2020年1月以降でカスタマイズの発注が100万円以上ある顧客受注総額推移



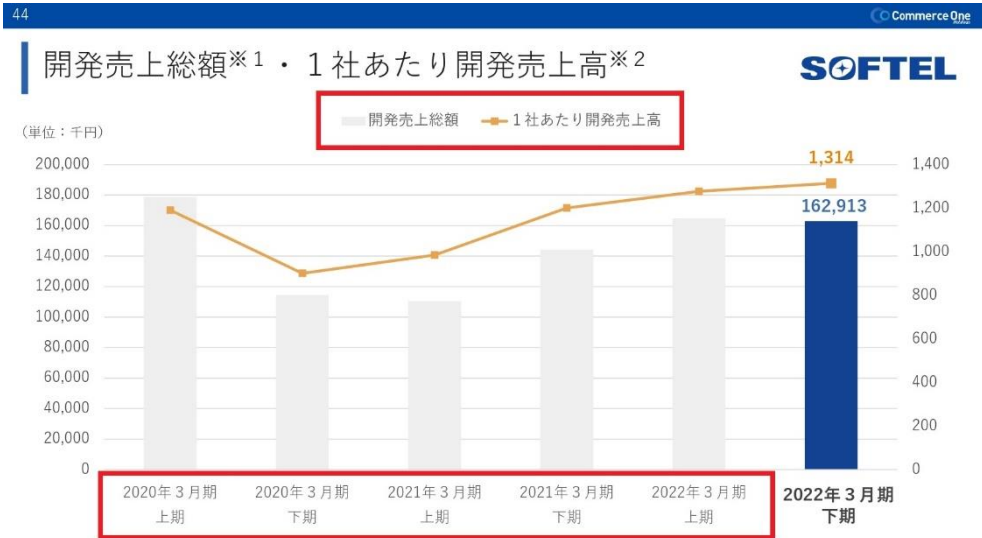
● P.44 開発売上総額※1・1社あたり開発売上高※2
(訂正前)



当年度からは工事進行基準を適用し、これに伴い少額または短期の開発案件を除き、進行中の案件についても各四半期で売上高が計上されるようになったが、納品自体は9月・3月に偏る傾向があるため、各年度共に上期・下期単位で表記している。
複雑な大規模案件が増加し、リソース不足で対応できる案件数が限られたため、2022年3月期下期は開発売上総額が対上期で微減となった。

※1 「通販する蔵」の初期導入売上高およびカスタマイズ売上高
※2 開発売上総額を期間内で初期導入・カスタマイズを実施した会社単位で割ったもの

(訂正後)



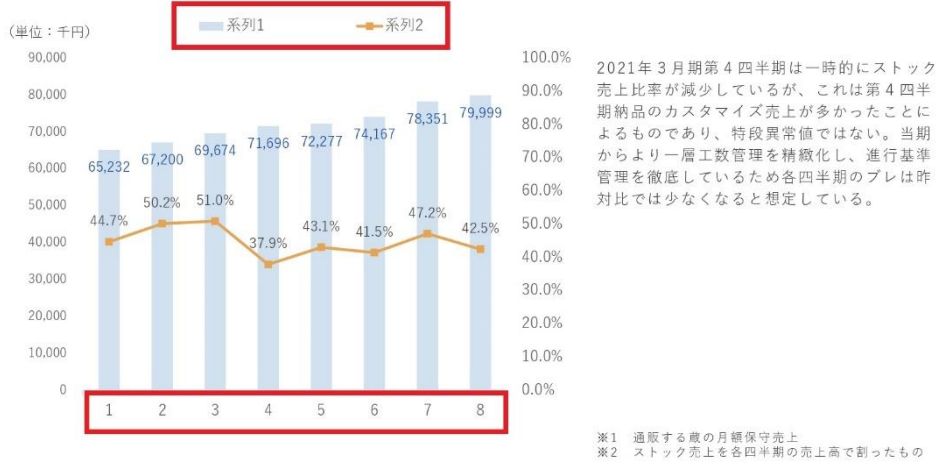
当年度からは工事進行基準を適用し、これに伴い少額または短期の開発案件を除き、進行中の案件についても各四半期で売上高が計上されるようになったが、納品自体は9月・3月に偏る傾向があるため、各年度共に上期・下期単位で表記している。
複雑な大規模案件が増加し、リソース不足で対応できる案件数が限られたため、2022年3月期下期は開発売上総額が対上期で微減となった。

※1 「通販する蔵」の初期導入売上高およびカスタマイズ売上高
※2 開発売上総額を期間内で初期導入・カスタマイズを実施した会社単位で割ったもの

● P.45 ストック売上※1 - ソフテル
(訂正前)

ストック売上※1 - ソフテル

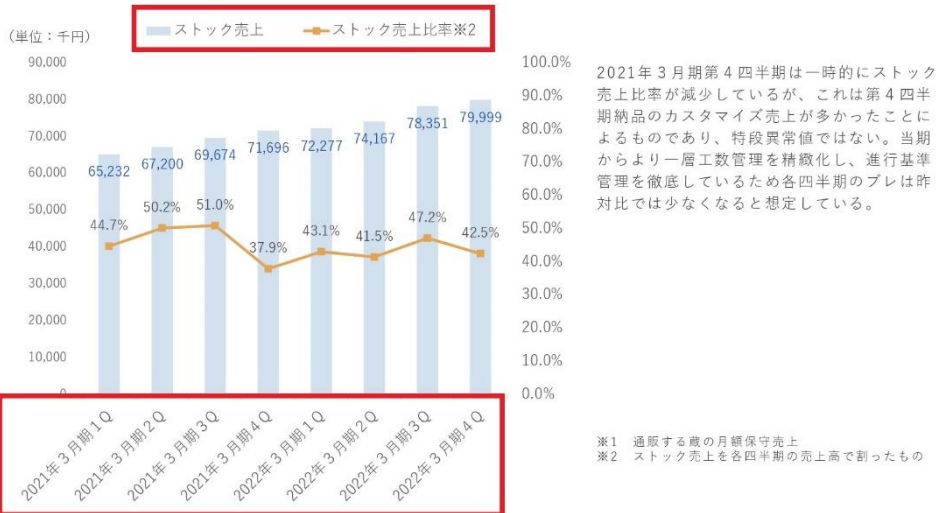
大口顧客の増加・案件の高度化に伴い順調に増収。
近年は概ね安定的に40%以上の水準を確保し、安定的な経営基盤を構築している。



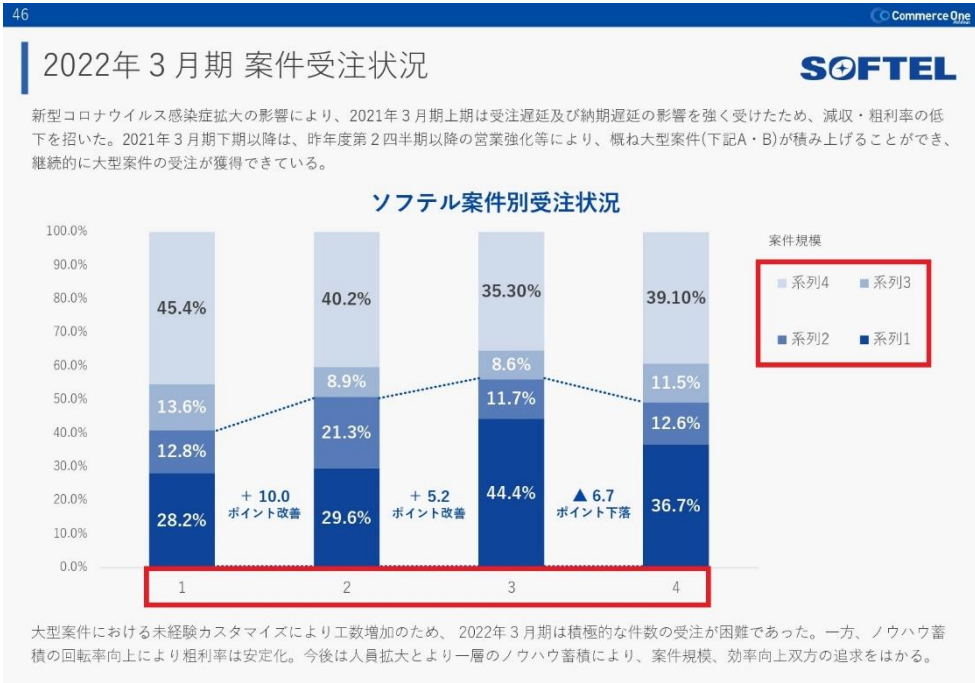
(訂正後)

ストック売上※1 - ソフテル

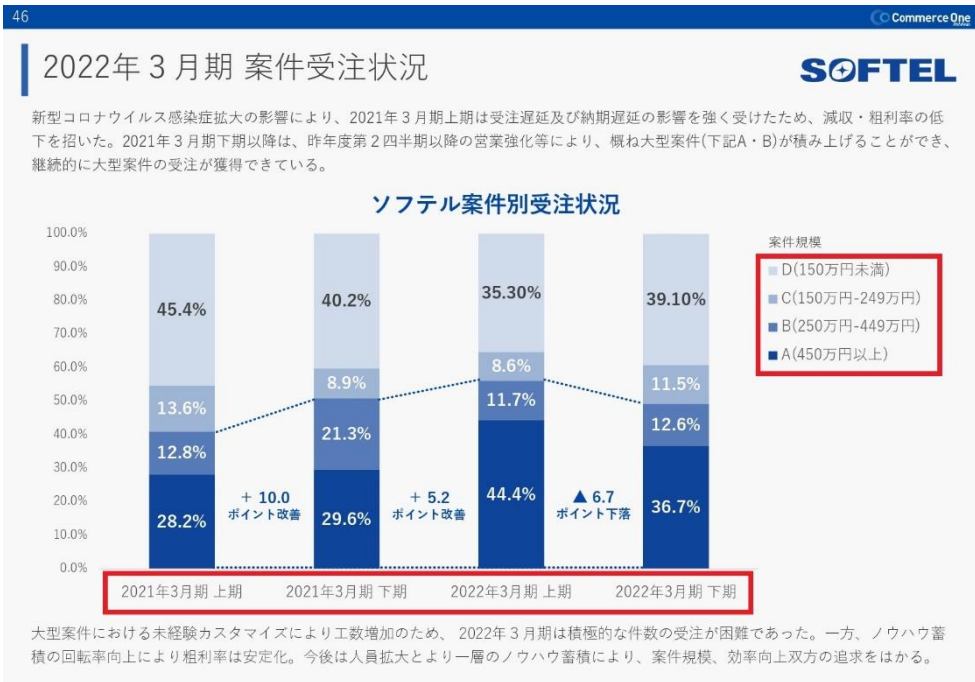
大口顧客の増加・案件の高度化に伴い順調に増収。
近年は概ね安定的に40%以上の水準を確保し、安定的な経営基盤を構築している。



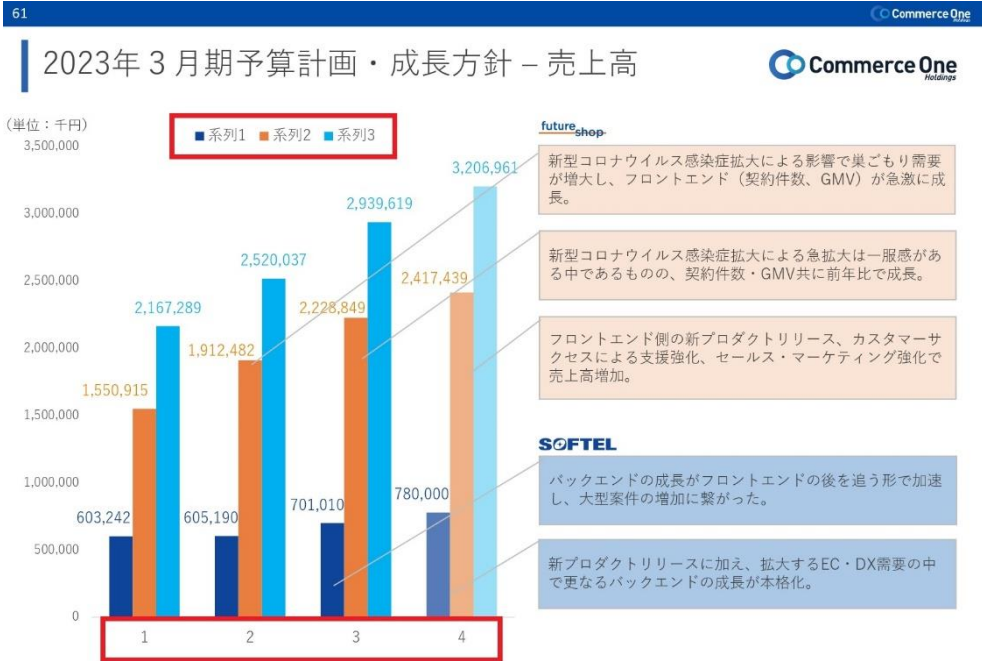
● P.46 2022年3月期 案件受注状況
(訂正前)



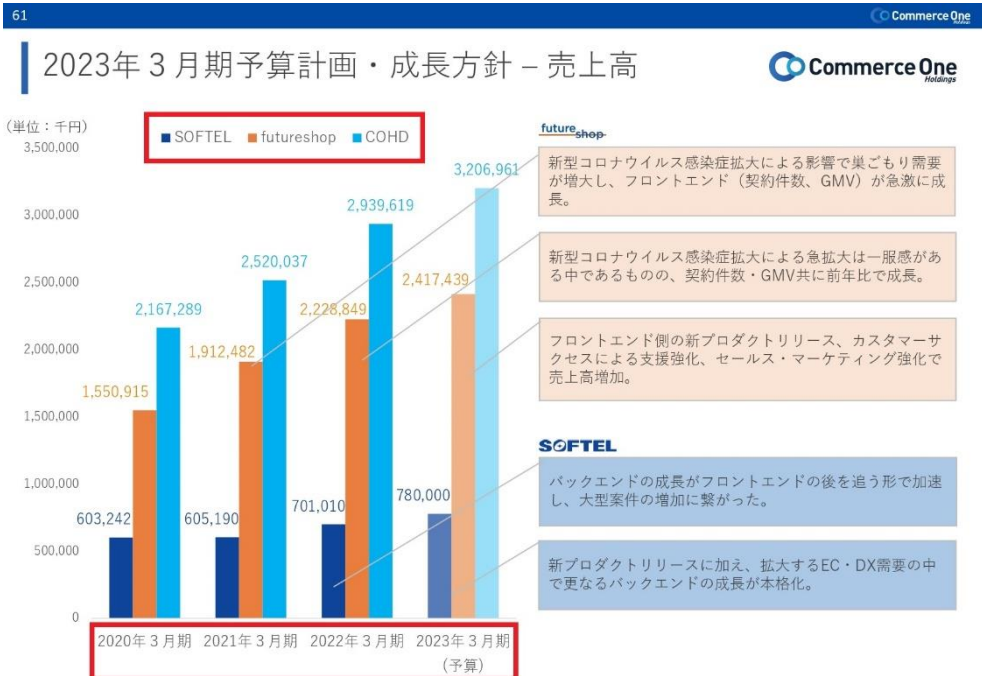
(訂正後)



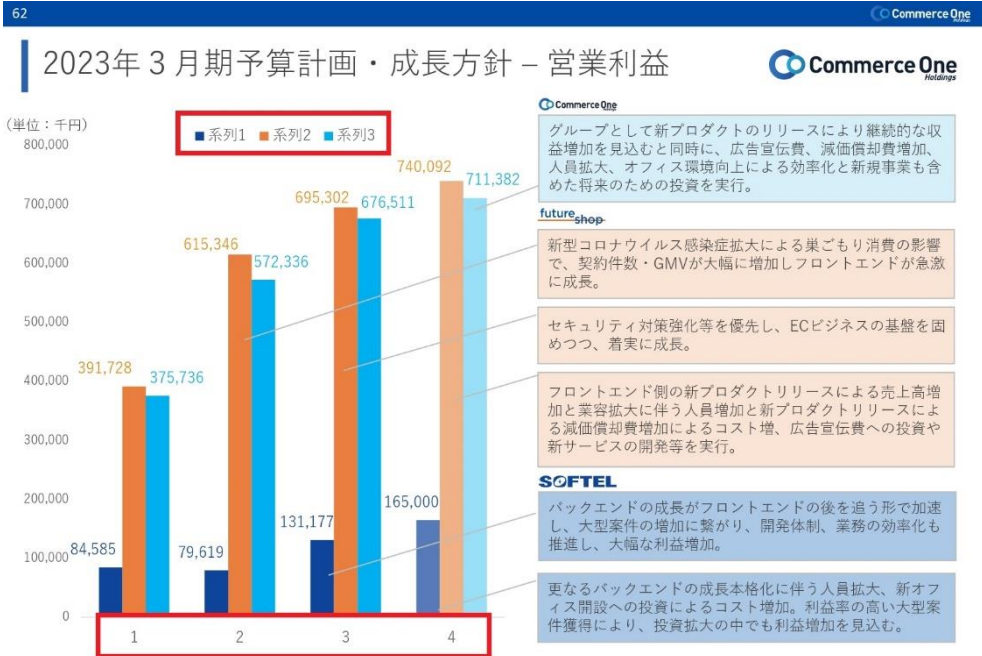
● P.61 2023年3月期予算計画・成長方針 - 売上高
(訂正前)



(訂正後)



● P.62 2023年3月期予算計画・成長方針 - 営業利益
(訂正前)



(訂正後)

